



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-4989-9	版	2.00
発行日	2023/01/11	前発行日	2021/01/28

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM タイヤ&ラバードレッシング 39042

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2 A

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	60 - 90
ポリ（ジメチルシロキサン）	63148-62-9	10 - 30
グリセリン	56-81-5	3 - 7
クロトンアルデヒド	4170-30-3	0.13
アルコールエトキシレート	160875-66-1	1.3

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気的环境中に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

暴露した場合、石鹸と水で洗浄する。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災周辺に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物**物質**

ホルムアルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶

剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

眼への接触を避ける。 子供の手の届かないところに置くこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
クロトンアルデヒド	4170-30-3	ACGIH	CEIL : 0.3 ppm	皮膚吸収の危険性。 A3: 動物に対して発がん性が確認された物質であるが、人への関連性は不明
クロトンアルデヒド	4170-30-3	JSOH OELs	限界値は未設定	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
不活性あるいは有害なダスト	56-81-5	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m3	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	56-81-5	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m3; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	56-81-5	ACGIH	TWA (吸入粒子) : 10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	56-81-5	ACGIH	TWA (吸入性粒子) : 3 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m3 : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具**眼の保護具**

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

保護手袋は不要。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
使い捨て式防じんマスクまたは取替え式防じんマスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	エマルジョン
色	乳白色。
臭い	穏やかな匂い。
臭いの閾値	データはない。
pH	7 - 8
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	引火点なし
蒸発速度	適用しない
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	1 g/ml
比重	1 [参照基準: 水=1]
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない

分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	0.1 重量% [試験方法：カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]
揮発性有機化合物	1 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発分	81 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	2 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合

眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ポリ（ジメチルシロキサン）	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,400 mg/kg
ポリ（ジメチルシロキサン）	経口摂取	ラット	LD50 > 17,000 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
アルコールエトキシレート	経口摂取	ラット	LD50 > 200, < 2000 mg/kg
クロトンアルデヒド	皮膚		推定値 200 - 1,000 mg/kg
クロトンアルデヒド	吸入－粉塵 /ミスト		推定値 > 12.5 mg/l
クロトンアルデヒド	吸入－蒸気		推定値 0.5 - 2 mg/l
クロトンアルデヒド	経口摂取		推定値 50 - 300 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリ（ジメチルシロキサン）	ウサギ	刺激性なし
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
アルコールエトキシレート	ウサギ	軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリ（ジメチルシロキサン）	ウサギ	刺激性なし
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
アルコールエトキシレート	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
グリセリン	モルモット	区分に該当しない。
アルコールエトキシレート	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アルコールエトキシレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系 心臓 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
グリセリン	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡く

ださい。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリ（ジメチルシロキサン）	63148-62-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	10,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
クロトンアルデヒド	4170-30-3	バクテリア	実験	18 時間	EC10	10.4 mg/l
クロトンアルデヒド	4170-30-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.597 mg/l
クロトンアルデヒド	4170-30-3	Inland Silverside	実験	96 時間	LC50	1.1 mg/l
クロトンアルデヒド	4170-30-3	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.65 mg/l
クロトンアルデヒド	4170-30-3	ヨコエビ	実験	48 時間	EC50	1.87 mg/l
クロトンアルデヒド	4170-30-3	緑藻類	実験	96 時間	EC10	0.385 mg/l
クロトンアルデヒド	4170-30-3	メダカ	実験	41 日	NOEC	0.025 mg/l
アルコールエトキシレート	160875-66-1	緑藻類	類似コンパウンド	96 時間	ErC50	1.4 mg/l
アルコールエトキシレート	160875-66-1	アミ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	5.6 mg/l
アルコールエ	160875-66-1	ニジマス	類似コンパウ	96 時間	LC50	4.2 mg/l

トキシレート			ンド			
アルコールエトキシレート	160875-66-1	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	2.5 mg/l
アルコールエトキシレート	160875-66-1	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	33 日	NOEC	0.98 mg/l
アルコールエトキシレート	160875-66-1	液状化	実験	3 時間	EC20	180 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリ（ジメチルシロキサン）	63148-62-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
クロトンアルデヒド	4170-30-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	55 %BOD/ThOD	40CFR 796.3200- クローズドボトル法
アルコールエトキシレート	160875-66-1	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	80 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
アルコールエトキシレート	160875-66-1	類似コンパウンド 生分解性		DOC（溶存有機炭素）残留量	>90 DOC除去%	OECD 303A - 模擬好気性下

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリ（ジメチルシロキサン）	63148-62-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.76	
クロトンアルデヒド	4170-30-3	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.60	
アルコールエトキシレート	160875-66-1	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	≤5.9	Catalogic™

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

化管法：第 1 種指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
クロトンアルデヒド	2-ブテナール	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	分類（2023年3月31日まで）	分類（2023年4月1日以降）
アルコールエトキシレート	アルファールキルオメガーヒドロキシポリ（オキシエチレン）（アルキル基の炭素数が9から11までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。）	580	該当なし	第1種指定化学物質

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
クロトンアルデヒド	クロトンアルデヒド及びこれを含有する製剤	毒物

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：製品用途 情報の追加。
セクション2：環境影響ステートメント 情報修正。
セクション2：GHS分類 情報修正。
セクション2：健康有害性 情報修正。
セクション2：注意書き - 一般 情報修正。
セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正。
セクション3：成分表 情報修正。
セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正。
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。
セクション8：mg/m³ 記号 情報の追加。
セクション8：作業環境許容値 情報修正。
セクション8：保護具 - 眼 情報修正。
セクション8：保護具 - 吸入 情報修正。
セクション8：ppm 記号 情報の追加。
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正。
セクション9：融点/凝固点 情報修正。
セクション9：発火点情報 情報修正。
セクション9：蒸発速度情報 情報修正。
セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正。
セクション9：燃焼点（下限）情報 情報修正。
セクション9：燃焼点（上限）情報 情報修正。
セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正。
セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
セクション12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。
セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加。
セクション15：法規名 - 表 情報の削除。
セクション15：毒物及び劇物取締法の表 情報の追加。
セクション15：化管法の表 情報の追加。
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。